

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

指 標		R7	R6	R5	増減理由等
研修室		2,033	1,543	1,302	研修室の利用者が増加した。
試写室		952	921	705	
交流ホール		2,935	3,160	2,966	
談話コーナー		447	659	150	
合 計		6,367	6,283	5,123	
コ メ ン ト					

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	27,335	27,335	26,391	人件費	23,986	24,513	23,603
受取利息収入	18	4	0	備品・消耗品費	671	431	430
				水道光熱費	1,135	1,063	1,064
				研修研究費	217	181	160
				修繕費	61	24	0
				保険料	10	10	10
				その他	1,132	883	891
合 計(①)	27,353	27,339	26,391	合 計(②)	27,212	27,105	26,158
収支差額(①-②)	141	234	233				
コメント							

3 管理運営状況

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗淨塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに、 ①建物・備品等、②消防設備、③電気設備、④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警 備 3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修 繕 備品・設備点検を随時実施
	備品等管理 備品台帳に基づく点検(年1回) 管理台帳整備
	安全対策 ・センター利用者に対する賠償責任保険の加入 ・安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練 ・避難訓練、消火訓練は消費生活センターが実施
	そ の 他 こまめな消灯・節電・節水等の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備 ①みやざき聴障センターだよりの発行 ②センターHPに研修会等の案内を随時掲載 ③満足度調査を2回実施
	イベント等ソフト面充実 ・映画「ぼくが生きてるふたつの世界」上映会実施(833人) ・東京2025デフリンピックフェスティバル開催 ・県民と共に進める手話の普及及び利用促進事業「しゅわフェス」開催 ・富士製菓工場見学 ・花見&自然農法体験ツアー
	施設設備等ハード面充実 特になし
	そ の 他 難聴者との手話学習交流会(毎週木曜日)、県立都城さくら聴覚支援学校手話研修会
管理運営体制	特になし
コメント	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	利用者満足度調査(年2回実施)	
調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
手話講習会について、受講後も学習が継続できるよう、Youtubeなどに動画を公開してほしい。		貴重な意見として、今後検討していきたい。
洋式トイレを増設してほしい。駐車場が不足している。		トイレに関しては簡易洋式便座を導入したり、駐車場に関しては混雑時の事前連絡を徹底したりするなど、中長期的に今後検討していきたい。

5 総合評価

評価コメント	基本協定書に基づいて適正な業務が行われている。
今後の課題と対応	聴覚障がい者センターでは、県内各地で聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運営業務を行っている。今後も引き続き、一般県民の方々に、センターの認知、利用機会の拡大に取り組んでいく必要がある。